

1. 科目名 (単位数)	教育学特論 (2単位)	3. 科目番号	SJMP5102						
2. 授業担当教員	篠 大輔								
4. 授業形態	講義・ディスカッション・プレゼンテーション	5. 開講学期	春期						
6. 履修条件・他科目との関係	履修条件は特になし	履修形態 (通信教育)	R						
7. 講義概要	<p>本講義では、教育学という学問の特性と教育学が取り扱う諸領域について教科書の読解を通して明らかにしていく。その過程において各受講者が自らの研究内容は教育学のどの領域と関連しているのか、研究方法は何を選択すべきかについて省察を深め、教育学的視座を活かして研究が進められるようにすることを目的としている。</p> <p>現代の教育学研究の成果に学び、教育学的視座から様々な教育に関わる問題についてディスカッションを通して考察を深めていきたい。</p>								
8. 学習目標	<p>1. 教育学という学問の特性と教育学が取り扱う諸領域について理解する。</p> <p>2. 教育学における科学と思想の関係について理解を深め、教育学研究の方法を身に付ける。</p> <p>3. 現代の教育学研究の成果に学び、教育学的視座から様々な教育問題を考察できる力を身に付ける。</p>								
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<p>1. レジュメの作成 各回の担当箇所についてレジュメにまとめて発表し、授業内で議論すべきテーマや課題を挙げる。</p> <p>2. 期末レポート 「授業の内容を踏まえて、教育学の研究内容や研究方法を自らの研究に今後どう活用していくのかについて論じなさい。」 (2000字～3000字程度)</p>								
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 木村元・小玉重夫・船橋一男『教育学をつかむ 【改訂版】』有斐閣、2019。</p> <p>【参考書】 村井実『教育学入門』講談社、1976。 広田照幸『ヒューマニティーズ 教育学』岩波書店、2009。 勝野正章・庄井良信『問いからはじめる教育学』有斐閣スタジオ、2015。</p>								
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>1. 教育学という学問の特性と教育学が取り扱う諸領域について理解することができたか。</p> <p>2. 教育学における科学と思想の関係について理解し、教育学研究の方法を身に付けることができたか。</p> <p>3. 教育学的視座から現代の様々な教育問題を考察できる力を身に付けることができたか。</p> <p>○評定の方法</p> <table border="0"> <tr> <td>・平常点 (積極的参加度・授業態度・発言等)</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>・課題 (レジュメ・プレゼンテーション等)</td> <td>30%</td> </tr> <tr> <td>・期末評価 (期末レポート等)</td> <td>40%</td> </tr> </table>			・平常点 (積極的参加度・授業態度・発言等)	30%	・課題 (レジュメ・プレゼンテーション等)	30%	・期末評価 (期末レポート等)	40%
・平常点 (積極的参加度・授業態度・発言等)	30%								
・課題 (レジュメ・プレゼンテーション等)	30%								
・期末評価 (期末レポート等)	40%								
12. 受講生へのメッセージ	<p>児童学専攻の学生として、教育学という学問分野について理解し、自らの研究に活用できるところを1つでも多く見つけてもらいたいと思います。</p>								
13. オフィスアワー	<p>授業中に指示する。</p>								
14. 学習の展開及び内容【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】									
1. テーマ	オリエンテーション・教育学とは何か - (unit0)								
【学習の目標】	教育学とは何かについて理解を深める。								
【学習の内容】	教育学の学問的性格や対象領域について考察し、教育学の成果について学び、それをふまえることの意義について考える。								
【キーワード】	教育、教育学								
【学習の課題】	普段何気なく使用している「教育」や「教育学」の意味をもう一度、考え直してみる。								
【参考文献】	『教育学入門』『ヒューマニティーズ 教育学』『問いからはじめる教育学』								
【学習する上での留意点】	固定観念にとらわれることなく、言葉の意味を考え直してみる。								
2. テーマ	教育と子ども (unit1～3)								
【学習の目標】	現代の教育観や子ども観の成立過程と人間の発達理論について理解する。								
【学習の内容】	現代の教育観や子ども観がどのように成立してきたのかについて、人間の発達理論を踏まえて検討する。								
【キーワード】	教育の概念、子ども観、発達論								
【学習の課題】	自らの教育観や子ども観はどのような教育思想や理論の影響を受けていたのかについて考察する。								
【参考文献】	『教育学入門』『ヒューマニティーズ 教育学』『問いからはじめる教育学』								
【学習する上での留意点】	授業をふり返り、理解が不十分な点があれば質問する内容を整理しておく。								
3. テーマ	教育と社会 (unit4～6)								
【学習の目標】	近代以降の教育と社会との関りについて理解する。								
【学習の内容】	近代学校と国民教育の成立過程を学び、教育と社会との関わりについて考察する。								
【キーワード】	近代学校、国民教育、社会変動								
【学習の課題】	近代以降の教育と社会との関りについて理解し、今後の教育のあり方について検討する。								
【参考文献】	『教育学入門』『ヒューマニティーズ 教育学』『問いからはじめる教育学』								
【学習する上での留意点】	授業をふり返り、理解が不十分な点があれば質問する内容を整理しておく。								

4. テーマ	教育の目的(unit7~9)
【学習の目標】	教育の目的の歴史の変遷について理解する。
【学習の内容】	教育の目的が近代以降、どのように変化していったのかを理解し、近代教育における教育の目的について考察する。
【キーワード】	近代啓蒙思想、ジェンダー、リテラシー
【学習の課題】	どのような歴史の変遷を経て、教育の目的が確立されていったのかを明らかにしていく。
【参考文献】	『教育学入門』『ヒューマニティーズ 教育学』『問いからはじめる教育学』
【学習する上での留意点】	授業をふり返り、理解が不十分な点があれば質問する内容を整理しておく。
5. テーマ	ペタコジーのグランドデザイン(unit10、11)
【学習の目標】	「学び」「目標」「評価」「学力」について問い直し、理解を深める。
【学習の内容】	「学び」とは何かについて考察し、それをどのように「評価」するのかについて検討する。
【キーワード】	学び、目標と教育評価、学力
【学習の課題】	「学び」「目標」「評価」「学力」のあり方について再考し、現代教育に求められる学習のあり方について検討する。
【参考文献】	『教育学入門』『ヒューマニティーズ 教育学』『問いからはじめる教育学』
【学習する上での留意点】	授業をふり返り、理解が不十分な点があれば質問する内容を整理しておく。
6. テーマ	カリキュラム開発と新たな学びのデザイン(unit12、13)
【学習の目標】	カリキュラム開発と新たな学習の過程と形態について理解する。
【学習の内容】	カリキュラムとは何かについて理解を深め、現代におけるカリキュラム開発や学習のあり方について考察する。
【キーワード】	カリキュラム、学習
【学習の課題】	カリキュラム開発について理解し、各カリキュラムにおける学びにあり方について検討する。
【参考文献】	『教育学入門』『ヒューマニティーズ 教育学』『問いからはじめる教育学』
【学習する上での留意点】	授業をふり返り、理解が不十分な点があれば質問する内容を整理しておく。
7. テーマ	教材と学習環境(unit14、15)
【学習の目標】	教材と学習環境の理想的なあり方について理解する。
【学習の内容】	様々な教材や学習環境の形態について学び、どのような教材と学習環境が理想的なのかについて考察する。
【キーワード】	メディア、学びの空間
【学習の課題】	教育内容に合わせた適切な教材と学習環境をどのように選択するのかについて検討する。
【参考文献】	『教育学入門』『ヒューマニティーズ 教育学』『問いからはじめる教育学』
【学習する上での留意点】	授業をふり返り、理解が不十分な点があれば質問する内容を整理しておく。
8. テーマ	生活指導と教育相談(unit16、17)
【学習の目標】	学校教育の中で生活指導や教育相談がどのように成立し、位置づけられてきたのかについて理解する。
【学習の内容】	生活指導や教育相談の成り立ちについて理解し、それらの望ましいあり方について考察する。
【キーワード】	生活指導、教育相談、カウンセリング
【学習の課題】	生活指導や教育相談の概要について理解し、それらが教科指導等の他の教育活動とどのように関連しているのかについて検討する。
【参考文献】	『教育学入門』『ヒューマニティーズ 教育学』『問いからはじめる教育学』
【学習する上での留意点】	授業をふり返り、理解が不十分な点があれば質問する内容を整理しておく。
9. テーマ	ペタコジーの担い手(unit18、19)
【学習の目標】	教師に求められる社会的ニーズを把握し、それを踏まえた教師の専門性について理解する。
【学習の内容】	教師にはどのような専門性があるのかについて学び、今後求められる教師固有の専門性について検討する。
【キーワード】	専門職、反省的实践家、民主的専門職性
【学習の課題】	教師にどのような専門性があるのかを学び、専門職としての教師のあり方について考察する。
【参考文献】	『教育学入門』『ヒューマニティーズ 教育学』『問いからはじめる教育学』
【学習する上での留意点】	授業をふり返り、理解が不十分な点があれば質問する内容を整理しておく。
10. テーマ	教育の制度(unit20、21)
【学習の目標】	教育行政の仕組みについて理解し、教育制度を改革していくための方法を学ぶ。
【学習の内容】	文部科学省や教育委員会などの教育行政の仕組みを学び、憲法や教育基本法の位置づけを踏まえた上で教育制度の望ましいあり方について考察する。
【キーワード】	文部科学省、教育委員会、立憲主義、法治主義
【学習の課題】	教育委員会制度の理念や教育における立憲主義の意義を理解し、それを踏まえた上での教育制度改革について検討する。
【参考文献】	『教育学入門』『ヒューマニティーズ 教育学』『問いからはじめる教育学』
【学習する上での留意点】	授業をふり返り、理解が不十分な点があれば質問する内容を整理しておく。
11. テーマ	学校接続と中等・高等教育(unit22、23)
【学習の目標】	日本の中等教育と高等教育の学校接続に関して理解し、その改革の方向性について学ぶ。
【学習の内容】	日本における中等教育と高等教育の進級・進学制度の原理を学び、近年の改革動向について理解する。
【キーワード】	履修主義、修得主義、中高等教育
【学習の課題】	日本の中等教育と高等教育の学校接続の現状やその改革の方向性を踏まえて、望ましい学校接続のあり方について考察する。
【参考文献】	『教育学入門』『ヒューマニティーズ 教育学』『問いからはじめる教育学』
【学習する上での留意点】	授業をふり返り、理解が不十分な点があれば質問する内容を整理しておく。
12. テーマ	キャリア教育・生涯学習(unit24、25)
【学習の目標】	進路指導やキャリア教育、生涯学習の理念について理解する。

【学習の内容】	キャリア教育や生涯学習が提唱される社会的背景を理解し、それらの望ましいあり方について考察する。
【キーワード】	進路指導、キャリア教育、生涯学習
【学習の課題】	進路指導やキャリア教育、生涯学習の理念について理解し、これからの社会でそれらが果たすべき役割について検討する。
【参考文献】	『教育学入門』『ヒューマニティーズ 教育学』『問いからはじめる教育学』
【学習する上での留意点】	授業をふり返り、理解が不十分な点があれば質問する内容を整理しておく。
13. テーマ	学習権と多文化教育(unit26、27)
【学習の目標】	子どもの学習と参加の権利や多文化教育の理念について理解する。
【学習の内容】	子どもの学習と参加の権利や多文化教育の理念について学び、今後求められる子どもの学習権の擁護や多文化教育のあり方について考察する。
【キーワード】	学習権、多文化教育
【学習の課題】	子どもの学習権や多文化教育の理念を踏まえて、これからの時代に必要となる教育のあり方について検討する。
【参考文献】	『教育学入門』『ヒューマニティーズ 教育学』『問いからはじめる教育学』
【学習する上での留意点】	授業をふり返り、理解が不十分な点があれば質問する内容を整理しておく。
14. テーマ	インクルーシブ教育と教育開発(unit28、29)
【学習の目標】	インクルーシブ教育と教育開発の近年の動向について理解する。
【学習の内容】	インクルーシブ教育と教育開発の近年の動向について学び、日本での特別支援教育の課題やグローバル化した世界における教育課題を検討する。
【キーワード】	特別支援教育、インクルーシブ教育、グローバリゼーション、環境教育
【学習の課題】	インクルーシブ教育と教育開発の近年の動向について理解し、これからの時代に必要となる教育のあり方について検討する。
【参考文献】	『教育学入門』『ヒューマニティーズ 教育学』『問いからはじめる教育学』
【学習する上での留意点】	授業をふり返り、理解が不十分な点があれば質問する内容を整理しておく。
15. テーマ	シティズンシップ／教育学を学ぶ意義について(unit30、31)
【学習の目標】	シティズンシップ教育が現代に求められる社会的背景を理解する。本科目での学習を踏まえて、教育学を学ぶ意義について考察する。
【学習の内容】	シティズンシップ教育の現状やそれが現代に求められる社会的背景を学ぶ。本科目の学習を振り返り、各受講生が教育学を学ぶ意義について考察を深める。
【キーワード】	シティズンシップ、公共性、教育学
【学習の課題】	シティズンシップ教育の近年の動向について理解し、これからの時代に必要となる教育のあり方について検討する。各受講生が教育学を学ぶ意義について自らの考えをまとめる。
【参考文献】	『教育学入門』『ヒューマニティーズ 教育学』『問いからはじめる教育学』
【学習する上での留意点】	授業をふり返り、理解が不十分な点があれば質問する内容を整理しておく。